



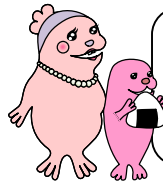
川崎区 ことば文化センター食育出前講座

活動の名称

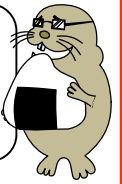
食育出前講座

団体等の名称

川崎区食育推進分科会



川崎区食育推進分科会は、川崎市食育推進計画を推進するために設置され、食に関する企業・団体等が連携して区の特性を生かした取組を企画・実施しています。



活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 □ 中学校 ■ 高等学校 □ 中等教育学校 □ 特別支援学校
- 児童館 □ 公民館 □ 図書館 ■ PTA ■ 子育て・教育支援団体、NPO ■ 企業・事業所
- 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） ■ 行政（保健・福祉部局） □ 行政（その他の部局）
- その他（川崎区食生活改善推進員連絡協議会、川崎区食品衛生協会、川崎市栄養士会、川崎区運動普及推進員）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

近年、食の乱れが課題となっており、特にこどもの頃から健全な食生活を身につけることが大切であることから、小学生を対象にした出前講座を、ことば文化センター（児童館）で開催した。



「食生活を見直そう～ことば文化センターでのこどもへの食育～」をテーマとし、ことば文化センターを利用する小学生やその保護者への出前講座を実施している。取組を通して、「朝食を食べること」「食事のバランスを整えること」「野菜を食べること」が生活習慣病を予防し、健康な身体づくりには欠かせないことの周知を図っている。

◆ 主な活動内容

出前講座は、委員のほか、委員が所属する高校のクッキング部の生徒が主体となって開催している。朝食の大切さやバランスの良い食事、旬の食材、味覚に関する話等を伝えるとともに、一緒に調理実習を行っている。

委員や高校生による講話の様子



調理実習の様子

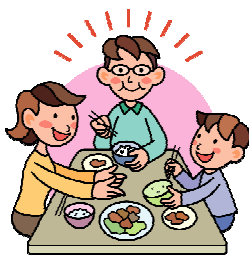


◆ 活動の成果と今後の展望

平成25年度までの4年間で21回、小学生236人に対して講座を実施した。ことば文化センターは区内に10館あり、平成26年度までに9館で実施することができている。また、その間134人の高校生が講座に携わっている。保護者へ実施したアンケート調査（右枠参照）から、高校生から学ぶ体験を通して、こどもの食への関心が高まり生活改善につながっていること、家庭にも波及効果があったことがうかがえる。

<保護者から寄せられた声>（一部抜粋）

- ・朝ごはんをしっかり食べるようになった
- ・普段食べないものを食べるようになった
- ・ジュースよりもお茶を飲むようになった
- ・食事の支度をするようになった



来年度中に全館実施を達成し、区内全体で食育の取組を行っていく予定である。この取組をきっかけに、高校生がことば文化センターと直接連絡を取り合って講座を実施したり、他の委員関連団体が活動地区の最寄りのことば文化センターと連携して継続的に講座を実施したりするケースがあり、活動に拡がりが見られる。今後も多様な団体の連携による食育活動を進めることで、こどもの食への関心を高め、こどもを通じた家庭への食育のさらなる普及啓発を図っていきたい。